



2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月12日

上場会社名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9265 URL <https://www.yhchd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員 社長 (氏名) 山下 尚登
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 吉田 弘幸 (TEL) 092-402-2922
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績(2023年6月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|------|------|------|-------|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年5月期第2四半期 | 28,899 | 4.5 | 618 | 3.5 | 645 | 3.3 | 480 | — |
| 2023年5月期第2四半期 | 27,661 | 1.2 | 598 | △9.9 | 624 | △10.9 | △201 | — |

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 539百万円(—%) 2023年5月期第2四半期 △191百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年5月期第2四半期 | 188.05 | — |
| 2023年5月期第2四半期 | △78.98 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年5月期第2四半期 | 24,827 | 8,341 | 33.5 |
| 2023年5月期 | 24,568 | 7,924 | 32.2 |

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 8,327百万円 2023年5月期 7,907百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年5月期 | — | 0.00 | — | 48.00 | 48.00 |
| 2024年5月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2024年5月期(予想) | — | — | — | 55.00 | 55.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 54,215 | △6.8 | 641 | △44.5 | 682 | △43.4 | 464 | 111.8 | 181.78 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 2024年5月期2Q | 2,553,000株 | 2023年5月期 | 2,553,000株 |
| 2024年5月期2Q | 114株 | 2023年5月期 | 114株 |
| 2024年5月期2Q | 2,552,886株 | 2023年5月期2Q | 2,552,886株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| (収益認識関係) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年6月1日～2023年11月30日）におけるわが国の状況は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症へ移行されたことにより、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向となっております。その一方で、エネルギー価格・原材料価格の高騰による物価上昇などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界におきましては、3年におよぶコロナ禍において、医療提供体制維持のため医療機関に対する継続的な支援が行われてきた中、診療や検査の増加等もあり、医療機関の医業収益には改善の傾向が見受けられます。

一方、2024年度診療報酬改定の基本方針が提示され、物価高騰・賃金上昇といった経済社会情勢、医療・介護人材確保の必要性等が示されております。その他、医療現場等における業務効率化の促進や医療情報の活用等を含む医療DXの推進、イノベーションの推進による医療機器等の開発力強化、安定的な生産供給体制の構築への取り組み等を通じて、安心・安全で質の高い医療提供体制を構築することが求められております。

このような状況の中、当社グループでは、営業活動にまだまだ一定の制約はあるものの、グループの事業会社7社が、各々の営業活動を行ってまいりました。中核事業である医療機器販売業においては、前年度末からの需要等の影響により検査用機器等の設備投資需要が前年同期よりも増加したこと、また、検査・手術件数の回復による診療材料の売上が回復・増加したことによる医療機器消耗品が増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間における売上高は288億99百万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。利益面につきましては、売上増加による売上総利益の増加により、営業利益は6億18百万円（前年同四半期比3.5%増）、経常利益は6億45百万円（前年同四半期比3.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億80百万円（前年同四半期は2億1百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高はセグメント内の内部売上高を含んでおります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、一般医療機器備品やMRI、CT等の画像診断機器や放射線診断装置及び超音波診断装置の売上により38億1百万円（前年同四半期比16.3%増）となりました。一般消耗品分野では、汎用消耗品及び手術関連消耗品の売上により123億51百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、電子内視鏡手術システム等の内視鏡備品や、腹腔鏡システム等のサージカル備品、血管内治療、内視鏡関連消耗品の売上により69億30百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。整形、理化学、眼科、皮膚・形成、透析により構成される専門分野では、透析関連機器や整形外科関連の売上により51億6百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、設備保守メンテナンスの売上により6億54百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

この結果、医療機器販売業の売上高は288億44百万円（前年同四半期比4.5%増）、セグメント利益は11億4百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

医療機器販売業の売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

| 区分 | 前第2四半期連結累計期間 | | 当第2四半期連結累計期間 | | 増減額 | 前年同期比 (%) |
|-----------|--------------|--------|--------------|--------|-------|--------------|
| | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 構成比(%) | | |
| 一般機器分野 | 3,269 | 11.8 | 3,801 | 13.2 | 531 | 16.3 |
| 一般消耗品分野 | 11,880 | 43.1 | 12,351 | 42.8 | 471 | 4.0 |
| 低侵襲治療分野 | 6,814 | 24.7 | 6,930 | 24.0 | 116 | 1.7 |
| 専門分野 | 5,031 | 18.2 | 5,106 | 17.7 | 74 | 1.5 |
| 情報・サービス分野 | 601 | 2.2 | 654 | 2.3 | 53 | 8.9 |
| 小計 | 27,596 | 100.0 | 28,844 | 100.0 | 1,248 | 4.5 |

② 医療機器製造・販売業

医療機器製造・販売業におきましては、主としてグループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売しており、売上高は1億46百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益は6百万円（前年同四半期比116.4%増）となりました。

③ 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は36百万円（前年同四半期比8.5%増）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期比436.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は248億27百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億58百万円増加いたしました。流動資産は、主に受取手形、売掛金及び契約資産の増加により、前連結会計年度末に比べて1億94百万円増加し、197億11百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて64百万円増加し、51億16百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、電子記録債務の減少等により、前連結会計年度末に比べて1億58百万円減少し、164億86百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて4億17百万円増加し、83億41百万円となり、自己資本比率は33.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により5億44百万円減少し、投資活動により1億54百万円減少し、財務活動により1億23百万円減少いたしました。この結果、資金残高は前連結会計年度末から8億23百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末残高は50億2百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末において、営業活動により減少した資金は5億44百万円となりました。

主な要因としましては、売上債権の増加額6億67百万円、棚卸資産の増加額3億54百万円、および仕入債務の増加額5億32百万円等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末において、投資活動により減少した資金は1億54百万円となりました。

主な要因としましては、有形固定資産の取得による支出47百万円、投資有価証券等の取得による支出32百万円、

敷金及び保証金の差入による支出53百万円等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末において、財務活動により減少した資金は1億23百万円となりました。

主な要因としましては、株主配当金1億22百万円の支出等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想につきましては、2023年7月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,825 | 5,002 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 10,492 | 11,165 |
| 商品 | 2,891 | 3,250 |
| その他 | 323 | 309 |
| 貸倒引当金 | △15 | △16 |
| 流動資産合計 | 19,516 | 19,711 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 3,646 | 3,662 |
| 減価償却累計額 | △2,095 | △2,151 |
| 建物及び構築物（純額） | 1,551 | 1,510 |
| 土地 | 1,649 | 1,649 |
| その他 | 817 | 811 |
| 減価償却累計額 | △691 | △693 |
| その他（純額） | 125 | 117 |
| 有形固定資産合計 | 3,326 | 3,277 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 56 | 78 |
| その他 | 55 | 48 |
| 無形固定資産合計 | 111 | 127 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,015 | 1,123 |
| 関係会社株式 | 22 | 21 |
| 破産更生債権等 | 612 | 557 |
| その他 | 576 | 566 |
| 貸倒引当金 | △612 | △557 |
| 投資その他の資産合計 | 1,614 | 1,711 |
| 固定資産合計 | 5,052 | 5,116 |
| 資産合計 | 24,568 | 24,827 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,793 | 8,821 |
| 電子記録債務 | 6,686 | 6,177 |
| 未払法人税等 | 334 | 64 |
| 賞与引当金 | 693 | 196 |
| その他 | 632 | 578 |
| 流動負債合計 | 16,139 | 15,839 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 234 | 232 |
| その他 | 270 | 413 |
| 固定負債合計 | 504 | 646 |
| 負債合計 | 16,644 | 16,486 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 494 | 494 |
| 資本剰余金 | 627 | 627 |
| 利益剰余金 | 6,306 | 6,663 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 株主資本合計 | 7,427 | 7,785 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 563 | 618 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △84 | △76 |
| その他の包括利益累計額合計 | 479 | 541 |
| 非支配株主持分 | 17 | 14 |
| 純資産合計 | 7,924 | 8,341 |
| 負債純資産合計 | 24,568 | 24,827 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 27,661 | 28,899 |
| 売上原価 | 23,920 | 24,959 |
| 売上総利益 | 3,741 | 3,940 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,143 | 3,321 |
| 営業利益 | 598 | 618 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 5 | 5 |
| 仕入割引 | 7 | 7 |
| 受取手数料 | 12 | 11 |
| その他 | 8 | 15 |
| 営業外収益合計 | 34 | 40 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1 | 0 |
| 為替差損 | 2 | 4 |
| 手形売却損 | 4 | 3 |
| 支払補償費 | - | 3 |
| 持分法による投資損失 | - | 0 |
| その他 | 0 | 1 |
| 営業外費用合計 | 7 | 14 |
| 経常利益 | 624 | 645 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | - | 54 |
| 条件付対価受入益 | 6 | - |
| 特別利益合計 | 6 | 54 |
| 特別損失 | | |
| 貸倒引当金繰入額 | 611 | - |
| 特別損失合計 | 611 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 20 | 700 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 53 | 48 |
| 法人税等調整額 | 170 | 175 |
| 法人税等合計 | 224 | 223 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △204 | 477 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △2 | △2 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △201 | 480 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △204 | 477 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2 | 54 |
| 退職給付に係る調整額 | 10 | 7 |
| その他の包括利益合計 | 13 | 62 |
| 四半期包括利益 | △191 | 539 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △188 | 542 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △2 | △2 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 20 | 700 |
| 減価償却費 | 94 | 90 |
| のれん償却額 | 7 | 8 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 612 | △54 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △443 | △496 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 0 | 9 |
| 受取利息及び受取配当金 | △5 | △5 |
| 支払利息 | 1 | 0 |
| 条件付対価受入益 | △6 | - |
| 持分法による投資損益 (△は益) | - | 0 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △459 | △667 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △539 | △354 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △52 | 532 |
| 破産更生債権等の増減額 (△は増加) | △611 | 54 |
| その他 | △340 | 42 |
| 小計 | △1,723 | △140 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5 | 5 |
| 利息の支払額 | △1 | △0 |
| 法人税等の支払額 | △145 | △426 |
| 法人税等の還付額 | - | 16 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,865 | △544 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △31 | △47 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △31 | △0 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2 | △32 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △30 | - |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | - | △53 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | - | △21 |
| 条件付対価の決済による収入 | 6 | - |
| その他 | - | 0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △88 | △154 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △209 | △122 |
| その他 | - | △1 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △209 | △123 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △2,162 | △823 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,975 | 5,825 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,812 | 5,002 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年6月1日至2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-------------|----------------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 医療機器 販売業 | 医療機器 製造・販売業 | 医療モール 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 一般機器分野 | 3,269 | — | — | 3,269 | — | 3,269 |
| 一般消耗品分野 | 11,880 | — | — | 11,880 | — | 11,880 |
| 低侵襲治療分野 | 6,814 | — | — | 6,814 | — | 6,814 |
| 専門分野 | 5,031 | — | — | 5,031 | — | 5,031 |
| 情報・サービス分野 | 601 | — | — | 601 | — | 601 |
| その他 | — | 140 | — | 140 | — | 140 |
| 内部売上高 | △96 | — | — | △96 | △11 | △108 |
| 顧客との契約から生じる 収益 | 27,499 | 140 | — | 27,639 | △11 | 27,628 |
| その他の収益 | — | — | 33 | 33 | — | 33 |
| 外部顧客への売上高 | 27,488 | 140 | 33 | 27,661 | — | 27,661 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 11 | 0 | — | 11 | △11 | — |
| 計 | 27,499 | 140 | 33 | 27,673 | △11 | 27,661 |
| セグメント利益 | 1,041 | 3 | 0 | 1,045 | △447 | 598 |

(注)1. セグメント利益の調整額△447百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△440百万円、棚卸資産の調整額△0百万円、のれん償却額△7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年6月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------|----------------|-------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 医療機器 販売業 | 医療機器 製造・販売業 | 医療モール 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 一般機器分野 | 3,801 | — | — | 3,801 | — | 3,801 |
| 一般消耗品分野 | 12,351 | — | — | 12,351 | — | 12,351 |
| 低侵襲治療分野 | 6,930 | — | — | 6,930 | — | 6,930 |
| 専門分野 | 5,106 | — | — | 5,106 | — | 5,106 |
| 情報・サービス分野 | 654 | — | — | 654 | — | 654 |
| その他 | — | 146 | — | 146 | — | 146 |
| 内部売上高 | △127 | — | — | △127 | △0 | △127 |
| 顧客との契約から生じる 収益 | 28,717 | 146 | — | 28,864 | △0 | 28,863 |
| その他の収益 | — | — | 36 | 36 | — | 36 |
| 外部顧客への売上高 | 28,716 | 146 | 36 | 28,899 | — | 28,899 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 0 | 0 | — | 0 | △0 | — |
| 計 | 28,717 | 146 | 36 | 28,900 | △0 | 28,899 |
| セグメント利益 | 1,104 | 6 | 2 | 1,113 | △494 | 618 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△494百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△488百万円、棚卸資産の調整額1百万円、のれん償却額△8百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。